

令和7年度 学校経営方針

1 学校経営の基調

日本国憲法・教育基本法・学校教育法等の関係法規に則り、県・地区・市教育行政の教育方針や基本方針、重点施策に基づき、生徒の実態や保護者・地域の願いを踏まえた教育を実践する。その中で、社会の変化に柔軟に対応し、自ら未来を切り拓いていこうとする「生きる力」を身に付けた心身ともに健康でたくましい人間性豊かな生徒を育成していく。

2 学校経営の基本方針

- (1) 人権尊重の精神に徹し、自他の生命や人権を重んじる心、規範意識や正義感、粘り強さや主体性などの生きる力を身に付けた社会に通用する生徒の育成を図る。
- (2) 教育に従事する教育者として、協調性に富み、専門職としての教養と識見を高め、学び続ける教職員としての矜持を忘れず、活力ある西指宿中学校の創造に努める。
- (3) 家庭や地域、関係機関・団体との連携を深めながら、9か年のつながりを意識した小中一貫教育活動を推進し、地域の信頼に応え、地域に根ざした特色ある学校づくりに努める。

3 社会の要請

- (1) 新学習指導要領を基に「主体的・対話的で深い学び」の授業改善、新しい時代に求められる資質・能力を育むための「社会に開かれた教育課程」の実現、学習の基盤となる資質能力を育成するためのカリキュラムマネジメントの確立をめざす。
- (2) 勤務時間の上限に係る条例・規則を基に、業務改善アクションプランの実践等、学校における働き方改革を推進する。

4 重点目標と具体策

- (1) 主体的な学びの育成

①確かな学力の定着 【各教科3点アップ】	ア 授業時数の確保と教育課程の確実な実施 イ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現 ウ 学習者主体の授業を目指し、授業における確実な振り返りの実施など「いぶすき授業ポイント5」を意識した授業改善 エ プレテスト・ポストテスト・かごしま学力向上支援 Web システム等の有効的な実施と活用
②ICT 機器の活用と充実 【双方向的学習】	ア 教科指導の効果を高めるための ICT 活用と研究や研修 イ 教師、生徒の ICT 活用能力の育成 ウ 授業技術として ICT 活用の明確な位置づけ
③小中一貫教育の充実 【つなぐ、揃える】	ア 小中一貫教育グランドデザインに基づく小中9年間を見通した教育実践、共通実践 イ 職員の合同研修会の充実 ウ 児童生徒の交流学习の充実
④キャリア教育の充実 【主体的な進路学習】	ア 主体的に進路選択できる系統的・計画的な取組の充実 イ キャリア形成を図る体験学習の充実 ウ キャリアパスポートの継続的活用 エ 自己指導能力を高める力の育成

(2) 豊かな心の育成

①絆づくり・居場所づくりを軸にした学級経営の充実 【自己有用感・自己肯定感の向上】	ア 生徒一人一人のよさを生かした自己有用感・自己肯定感を高める学級経営 イ 構成的グループエンカウンター等の取組を通した望ましい人間関係づくり，安心安全な学校づくり ウ 学校行事や学級活動を通して集団でやり遂げた過程や努力を認め，個や集団の成長を実感できる取組
②主体性や自治力を育む特別活動の充実 【人間関係形成・社会参画・自己実現】	ア 生徒の自主性や主体性を育成する生徒会活動 イ 互いの意見の違いを認め，よさを生かしながら合意形成を図ったり意思決定したりする話し合い活動の充実 ウ 望ましい人間関係を形成し集団や社会，自己の生活上の課題を主体的に解決することができる生徒の育成を目指した取組
③道徳教育・人権教育の充実【Momの実践】	ア 特別の教科道徳の計画に基づき「考え，議論する道徳」の実践 イ 西中ニコニコデー（毎月25日），いじめ問題を考える週間，人権週間を活用した取組の充実 ウ 人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」の有効活用及び，年3回の校内研修の充実
④ふるさと教育の推進と開かれた学校づくりの充実 【未来の担い手を育む人材育成】	ア 愛郷心が高まる「いぶ好き『ふるさと学』」の充実 イ 地域の方との交流を通して地域の一員としての自覚を高め，主体的な地域連携ができる力の育成 ウ 学校運営協議会，校区青少年育成会議等を通した地域と連携した協力体制の構築 エ 学校だよりや諸通信，学校ブログによる積極的な情報発信の継続

(3) 安心安全な学校づくり

①安全教育の充実 【校内及び通学中の事故ゼロ】	ア 月1回の安全点検及び危険箇所改修の確実な遂行 イ 地震・火災・不審者対応・引き渡し訓練を通した危機管理能力の育成 ウ PTAと連携した朝の立哨指導や下校安全指導の実施
②生徒指導の充実 【いじめ・体罰ゼロ，学校満足度90%】	ア 生徒指導委員会を通した情報共有及び共通実践 イ 養護教諭のコーディネートによる相談体制の充実 ウ SC，SSW，市教育相談員等による家庭との連携 エ 学校楽しいーとの効果的な活用
③特別支援教育の充実 【個別の支援計画・個別の指導計画100%】	ア コーディネーターを中心とする校内支援体制の充実 イ 個別の支援計画・個別の指導計画に基づく計画的・組織的支援の充実 ウ ユニバーサルデザインの視点による環境整備（ないと困る支援からあると便利な支援へ）
④心身の健康の保持増進 【ウェルビーイングの向上】	ア 外部講師との連携による学びの充実（性・食育・薬物・血液・メディアコントロール） イ 自己を振り返り，自己調整や自己改善を図りながら，自己管理能力を高める力の育成 ウ 部活動の年間・月の練習計画策定と休養日の設定 エ 業務改善アクションプランの推進